

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	血漿および血清のタンパク質濃度とアルツハイマー型認知症の関連
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 精神科 (職名) 准教授 (氏名) 伊賀淳一
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 10 月 31 日
対象となる方	2000 年 4 月から 2025 年 10 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちアルツハイマー型認知症と軽度認知障害と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料（血液・細胞・排泄物など）
研究の概要 (目的・方法)	アルツハイマー型認知症(AD)では脳内にアミロイドβやリン酸化タウが蓄積することが病態に関与し、脳内への沈着により認知機能障害が出現する。同時にADは、神経炎症（ミクログリア、アストロサイト活性化）、血管障害（small vessel disease、BBB 破綻）、代謝異常（糖代謝・脂質代謝）、免疫・凝固系の変化、全身レベルのフレイル・サルコペニアなど全身性の変化が複合した「システム疾患」としての側面がある。網羅的な血中タンパクの変化は、「どの生物学的パスウェイが病期ごとに動いているか」のヒントになり、「どこを治療標的にすべきか」を逆算する地図になり得る。そこで当科で保有する AD 患者の血液を用いてプロテオームと臨床症状・画像・遺伝子型の統合解析を行い、新しい治療標的・介入

	ポイントの探索を行う。
個人情報の保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。提供先が外国の研究機関や外国の企業の場合には、その国での個人情報の保護規定が定められていることを確認した上で、個人を特定できる情報を含まない形で提供します。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院精神科 伊賀淳一 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5315